

小・中学校統廃合の効果

中心市街地活性化へのチャンス

134

カレンダーが最後の一枚になった。地球温暖化のためか、暖かい日が続く。景気には悪影響。

一、小・中学校の統廃合答申

①岡山市中心部にある小・中学校の統廃合に関する答申が、先般出された。教育的立場からの見直し論議が中心。

②なぜ、教育的側面からでしか統廃合問題を考えないのだろうか。中心市街地活性化が叫ばれている昨今である。商業地の再生と振興のために、総合的見地から検討することが、大切ではないか。

③縦割りの官庁では、別々に問題解決するのが当然のことかも知れない。しかし、一般企業では、横断的かつ総合的に判断するのが常である。どのように整合性を持たせ、かつ、相乗効果が最大限に高まることを考える。

④街づくりの観点からは、学校跡地を巻き込んで中心市街地振興策を議論すべきだ。そうすることが地域住民への利益還元にもつながるし、地域活性化への起爆剤にもなる。

二、うつつという世相

①老舗の証券会社や、都市銀行などが相次いで倒産した。理由はいろいろあるのだろうが、直接関係のない私のような者にさえ気の重い話だ。

②「取付け騒ぎ」が怖い。マスコミにより情報が飛び交う。あぶないと噂されれば、預金が出して、体力が一気に消耗してし

まう。逆に、アナウンス効果により、政府が支払保証を約束すれば慌てなくなる。

③いずれにせよ、意識改革になったことだけは事実。一流が必ずしも、すべて良いとは限らないこと。いいかげんな事業運営をしていると行き詰まること。経営者のヒラメキとリーダーシップが特に重要であること等々。

三、県庁職員様、元氣を出そう！

①だいぶ腰が引けてきたようだ。夜の会合など減相もないことらしい。県職員がしよんぼりすると世間に与える影響が大きい。幹部職員のうち、不遜な振舞をしてこられたお方の処遇を考える時でもある。

②ただ、一兆円の借金といっても単年度主義だし、県有財産は目減りしない。企業会計とは、会計システムが異なるから、企業(予算)規模から判断する限り、単純に経営内容を比較出来ない。

③時代が時代だから、いくら講釈を述べても、一気に財政事情が変わるものではない。そうだとすれば、借金の繰延べ交渉をするとか、金利の改定を申込むなり、最大限の努力をして欲しい。

④急ブレーキをかけて、経済活動の血液の流れを止めれば、循環機能が果たさなくなり、企業はやってゆけなくなる。静止画像にしなければ、世の動きが判断出来ないようでは困る。「景気浮揚と財政改革」という二律背反する命題をスムーズにこなすことが大切。それには「知恵」がいる。

## 経済立県岡山を目指そう

133

紅葉のきれいな晩秋。景気の冷え込みも手伝って、心も体も萎縮しないようにしたい。

### 一、巣立ちの時が来た

①景気判断の指標である株価に元気がない。消費税の値上げによる影響は、九月以降には、上向くと予測していた多くの経済評論家等は、頭を丸める必要がありそうだ。

②規制緩和は、時代の大きな流れ。規制で守られていた業種は、後ろ盾がなくなる。仲良しグループ、護送船団方式、談合などにより、形式的平等で守られていた。しかし、形式的平等は実質的な不平等をもたらすものである。

③これからは、実力のあるものが勝ち組になる。加入団体からの擁護が難しくなり餌を与えてくれなくなるから、自ら自立しなければならぬ。「血を流す」ことが要求され、失血状態で負け組になる人も出てくるだろう。

④しかし、世界の中で日本が戦うには、経済的規制を取り除いて、古いぬるま湯体質を脱却し、独り立ちして活動する以外に方法はない。適者生存の時代が来る。

### 二、民活により、公共資産の調達を!

①例えば、必然的に、県立図書館を県有地に自前で建てる必要はない。民有地に、民間資本により、県の設計した建物を建ててもらって、長年にわたって延ばしする。いわゆる、定期借地権契約を活用して、リ

ースすればよい。

②従来の発想を根本的に転換することも大切。そうすれば、県の借金が形式的にも実質的にも少なくなる。民活の活性化のため、景気浮揚にも繋がる。また、民間が建築すれば、競争原理の導入により官庁より、建築費が安くなるはず。

③倉敷チボリ公園の土地は借地である。建物も、地主に建ててもらうことも可能である。いずれにせよ、県等の債務保証は必要になるが、元気のよい企業も岡山には多いから、その気になれば話に乗ってくれるだろう。

### 三、「見直し」論に思う

①口では簡単であるが、人材育成の「人材」とはどういう人物像を描いているのだろう。県庁を目指す二十一世紀のビジョンの大黒柱の一つ。県庁職員は難しい試験に受かったエリートである。どのような形で、時代の要求する人材に育てるかである。物知り博士の頭でっかちも困るから。

②県が財源不足で、「見直し」をすると公表しただけで、心理的に不況感が強まる。経済は「回転」しなければいけない。メリハリをつけて中長期的視野から、ぜひ必要な事業は継続して行うべきだ。特に、空港や港湾の整備は、重点的にやる必要がある事業。

③あれもしない、これもしないでは、どうにもならない。知恵を出しあって真剣に、「経済に強い岡山」を作るために、官民一体で考えなければならぬ時だ。

金融ビッグ・バンへの対応

棲み分けに徹し、地域との連携を密に

132

芸術の秋にふさわしく、各地で「国宝」を含む特別展が開催中。必見の価値はある。

一、倉敷チボリの波及効果

①結果的には、チボリが倉敷に立地したことが成功に結びついた。入場者は大幅に予想を上回っている。大原美術館との相乗効果によるところが大。勝つて兜の緒を締めよ。

②今後の命題は、アクセス道路を整備充実すること、もてなしを良くすべくお客様に対する接客態度を重点課題に取り上げること、チボリ公園の新鮮さを常に保つことなど。

③倉敷市内だけで宿泊ができず、岡山や児島方面へとお客が流れている。岡山駅前辺りの人通りが多くなっているのも現実である。経済効果は大きい。一過性の現象に終らせず、リピーター（再訪問客）を増大させる方策を練ること。

④いつまでも、財政難の岡山県に経済援助をしてもらわずに、一日も早く自立して、独立採算方式に切り替えた方が、職員の士気も昂揚するし、やりがいもある。

二、総会屋

①銀行、証券から始まり、上場企業までが相い変わらず、総会屋とお付き合いをしている実態が明らかになっている。表沙汰にしたくない事柄が、そんなに多いのかと思いきや、そうとばかりは言えないようだ。

②「与党総会屋」を、常に、身近に置いておくことは、玉除けになるし、御用聞き

もしてくれる。必要悪として重宝。「海の家」を借りるという口実のもとに、総会屋に出捐していたことは、自分達の行為が、悪いことだと認める証左になる。

③世界に通用しない総会屋と手を切ることで、国益に合致する。「みんな逮捕されれば、恥ずかしくない」では困る。徹底的に、世の中の悪癖を大掃除して、新しい金融システムの構築を。

三、ビッグ・バンへの対応

①金融界においては、外国為替の自由化をはじめ、外国系銀行が上陸して、日本市場を荒しまくる可能性も否定できない。確かに、大企業や都市銀行などにおいては、大変革は重要な意味をもつ。しかし、テレビ等が、東京中心に国際経済を議論しても、地方においては、さほど、深刻な問題は発生しないだろう。

②金融等の二重構造が極端に進み、棲み分けが鮮明になる。地方の金融機関は、優先的に地元対策を重視する方が、得策ではないか。現実には、こまめに各戸を回っているか？高齢者宅を訪問し、声を掛けてやるのが仕事につながる。

③時差出勤により、営業時間の延長などサービスの充実も必要。もちろん、金融ビッグ・バンについて無関心でよいはずはないが、今まで以上に、限られたテリトリー地域との連携強化に力を入れ、中小零細企業や高齢者に、ターゲットを絞り込むことが大切になる。

預金者のための、強引な債権回収は、「違法」

(131)

行楽の秋。新興の温泉地も増えた。ゆっくり、のんびりしたいものだ。

一、今が、最低水準

①岡山市の地価は、下落傾向を続けてきたため、底値に近い状態に至った。これまでの状況が続くのであれば、岡山市民として憂鬱。

②県都岡山市がどのようなになるかは、興味のあるところだ。私は、唯今、現在が、最低レベルであると考えている。岡山市の都心部の空洞化対策は、未だ明確なもの芽生えていないが、何とかしなければとの思いの発端が、民間をはじめ、始動した。子供たちの為にも、夢と希望に燃える岡山にしたい。

③市役所通りの岡山ガスによる新築中のビル、JＴやNＴＴによる工事着工、及び、岡山駅前の区画整理事業の進展による駅前広場など進行中。

④その他、西川緑道公園のリニューアルによる公園の拡大構想、林原による自然史博物館建設、表町界隈の活性化への動きなど、多彩である。

⑤とん挫した操車場跡地利用は、当面、粗大ゴミ活用の交換広場や簡単な整備により運動場として活用するなどして、ゆっくり時間をかけて考えれば良い。アイデアに富む、多くの利用法が提案されているから、それらをじっくり吟味して、検討しよう。

⑥公的施設などの、活発な利用方法を考

えたらどうか。稼働率を高めるとか、閉めきったままの建物を一般開放するなど、都心部活性化の原動力としてテコ入れすべきだ。

二、正義とは、何か！

①新聞を見て、明日は、わが身かと、ショックを受けた金融機関首脳部は多いはず。北陸地方を中心に堅実経営の上位行「北国銀行」の頭取等が逮捕されたからだ。

②「金融機関は預金者のお金を預かっていから、預金者のために、適切に運用しなければならぬ」という指導理念を念頭に、銀行員等は常に行動している。

③税金で補填されている保証協会からの弁済を、不正な手段を使って強要すれば、違法性を帯びて犯罪になる。即ち、「度」を越せば、銀行等における正義は、社会において不義になる。永田町の倫理に似ている。本件に限らず、国民や一般人の常識と乖離した、独善的な大義名分が、一人歩きする。

④地検の特捜部がメスを入れた。保証協会を通じて税金を吸い上げて、弁済を受けることになれば、第二の住専問題として、浮かび上がったのではないか。

⑤バブルは誰の責任か。複合汚染だ。みんながバブルという「御興」をワッショイ、ワッショイと担いだ。バスに乗り遅れまいと、先を急いだ金融機関のみの責任ではない。だから、不良債権処理による傷みは、国民全体で、分ち合うことが、必要となる。

「不信任」と同等の、批判行動

(130)

暦通り、いい時候になった。実りの秋。自然の営みに感謝。馬も肥ゆる秋。

一、おもしろ、おかしく塾を作ろう

①先日「赤枝郁郎氏に感謝する会」があった。本誌のライバル誌？「瀬戸内海経済レポート」に五十五歳から十七年間コラムを執筆され、五〇〇回を記念する会合だった。

②実に話題が豊富な方で、好奇心が旺盛。話していて、楽しい人である。私は、四十歳代後半から書かせていただき、やっと、一三〇回になった。クビにならない限り、辛口で爽やかな文章を書きたい。

③「岡山木村屋」の梶谷忠二さんが挨拶をされた。明治二十三年十月生まれだから、九十七歳。杖もいらぬし、声にも張りがあり、健康そのもののお見受けした。岡山経済の発展のために尽力され、重責を担ってこられた人。

④梶谷さんをはじめ、貴重な体験やお考えを持たれている方は多い。県民に、話をしていたく機会をつくつたらどうだろうか。交通の便のよい所を、無償で、場所の提供をしてみらう。自薦他薦を問わず、幅広く話し手を登用する。

⑤先輩が、どのように考え、行動してきたかを、後輩に、話しておくことも大切ではないだろうか。高齢化社会といわれるが、高齢者の智恵を引き出す方が、殆どなされてない。

⑥事務局は、勿論無償。岡山経済同友会、あるいは岡山商工会議所などが主体になったらどうだろう。ボランティア・プロフェッサー制度が活躍していることでもあり、ぜひ実現したいと思う。いかがなものでしょうか。

二、混迷する岡山市政

①異例の事態も、度重なる異常でなくなる。議決案件の二件が市議会で可決されず、継続審査になった。いずれも重要な案件。積もり積もった執行部に対する不満が、一気に爆発したようだ。

②操車場跡地利用に関しては、サッカー場構想が持ち上がった時から、私は、度々、反対してきた。サッカー場建設は中断ということになったが、六億円余りの税金が水泡に帰した。未だに、市長は、サッカー場に未練がありそうな発言を繰り返している。

③リーダーは、高所から物事を判断して、行政を行わなければならない。個人的好みで、税金を無駄遣いするのは許されない。公務員は、自分で稼がないから、コスト意識が非常に希薄だ。無駄金が多すぎる。

④岡山市は六十万都市である。市のイメージに「ホテル」がよいという発想。よほどの田舎を連想させる。第四次総合計画基本構想における基本的考えだ。こういうたぐいのものは、シンク・タンクなどに依頼するようだが、市の姿勢を、どの程度反映しているのだろうか。他人任せではどうにもならない。

## 現場監視を、厳格に、強化せよ

(128)

九月。さすがに朝・夕は涼しくなった。新学期が始まった。気分一新ガンパロー。

### 一、一円入札の波紋

①コピー機十台を五社に入札させた。五社のうち三社が、だったの一〇〇円までの入札だった。ダンピングの問題も生ずるだろうが、多数決によれば、ただ同様に納入しても採算が合うと判断した。

②同じように、携帯電話は本体を無料で配布しても、基本料等で回収することができる。複写機もしかりで、使用料や消耗品代金により、採算ベースに乗せることができる。

③シェア争いや過当競争など諸事情がからみ、メーカーや業者間の仲間内では、大変な問題だが、安く納入するのは官・民共通の願いであるから、販売競争激化は結構なこと。

### 二、指名競争入札

①岡山市が、ごみ焼却施設建設工事の指名入札をしたところ、予定価格推定約二〇〇億円以上を、約一二九億余の「格安」な価格で、石川島播磨重工業が入札。

②入札価格が安すぎるかどうか、再調査したが、契約履行しても差し支えないことになった。昨今は、大手から零細企業に至るまで、企業努力をして、コストダウンに凌ぎを削っているのが現実。

③最低落札額を決めているのは、いい加減な手抜き仕事をさせないためらしい。現場監視を強化して、手抜きに、厳しく対応しておれば阻止できることだ。現場監視人の監督者がいるのかもしれないが……。

④札落業者は、日本を代表する大手企業。手抜きなどする訳がない。それなりの利潤が見込まれる金額をはじいた上での入札価額。財政緊迫な折、安いことはよいことだ。

⑤公共企業体（県・市など）の公共事業への対応が、「甘い」のではないかと思う。当該工事も、工事発注仕様書の作成は、コンサルタント会社に、「設計から見積まで」任せきりだったようだが、もっと、責任体制をしっかりと欲しい。

⑥「談合」が取りざたされている。公務員から漏れる場合もあるが、仕様書等の作成を任せられた、コンサルタント会社等が漏らす場合もある。現に、広島では、設計コンサルタント社長が逮捕されている。

⑦公共事業が抑制され、予算も減額される。岡山県は、公共工事を中止、あるいは、延期すると公言している。ゼネコンの倒産が、現実化している昨今、仕事を取るための競争は、更に、熾烈になるだろう。

⑧最低制限価格を設定しないで、自由競争に任せて、企業努力により、安い価格で落札させればよい。そのかわり、手抜きさせない担保として、現場監視人を大幅に増員して目を光らせることだ。大局的に見れば、競争原理に合致し、安い価格で良い仕上りが期待出来る。

## 多種多様な受け皿施設を

115

世の中は、不況気分が漂っているが、変革期岡山の船出にふさわしい石井県政へ大きな期待を託す元年。

## 一、毎日が正月

①初日の出は、濃霧のため見えなかったが、穏やかな新年だった。食生活が良くなり、娯楽も多様化し、休暇も多くなってきたため、昨今は、日常生活に潤いと余裕が見られるようになった。

②毎日が、正月のような生活。正月をさほど楽しく、待ち遠しいものに思わなくなった。お年玉も潤沢にあるので、元日から平常通り営業している盛り場へと繰り出すというパターンが、近年、顕著になって来つつある。この傾向は、さらに強まるだろう。

③日本の四季の行事は、生活様式の変化や価値観の多様性により、段々と維持出来なくなり、新しい文化が生まれるのだろう。

## 二、厳しく、暗い世相

①ペルーの日本大使公邸占拠事件が長引いている。日本大使館といえば、日本国の主権が及ぶ所だから、日本政府はもつと積極的に対応すべきだろう。教科書に載っていた「治外法権」を思い出した。

②ロシア船籍のタンカー沈没事故による原油流出は、箱庭のような日本海の中で、逃げ場がないため、被害を大きくしている。それにしても、柄杓で掬うという原始的な方法しか手段がないとは情けない。危機管理の問題だろう。インフラ強化の一環とし

て対応するべく、研究プロジェクトを創設する必要がある。

③厚生省の岡光前事務次官の贈収賄事件には失望した。福祉社会実現のために、ゴールドプランは必要だが、官僚が民間企業と同様のマージン稼ぎの発想で仕事をしているとは。即ち、報酬をもらって当然、というバブルに踊った心情が悲しい。

## 三、積極的な減税を

①株価の急落は深刻。バブル崩壊後、五年余りが経ち、上場大手不動産企業でさえ、忍耐と体力の限界にきている。何が下落の原因かを熟考すべきだろう。三塚蔵相は「市場のことは、市場に聞け、というに尽きる」と無策ぶりを披露した。

②思い切って、年収三〇〇万円以下の低所得の人からは、所得税を課さないで、国民に金銭的な余裕を与える。可処分所得が増せば、消費が活発化して、景気が良くなる。諸税により、連鎖的かつ、間接的に増収に結び付ける。増税の効果が表れるまで、国債を使うのはやむを得ないだろう。徴収にかかる手間及び費用と実質的な納税額とのバランスを考えれば課税標準額を引き上げるのが得策。

③特別減税の廃止や消費税5%の適用などにより、お金を吸い上げてしまうと、無い袖は振れないため、お金が回転しなくなる。少しでも動きがあれば、お金は付いて行き、おのずと税金が発生するという循環システムの活用を。